

### 3. アルファルファタコソウムシ防除体系確率事業

#### 1) 発生状況

(1) 本県内初発生：62年4月中旬、松浦市志佐（水田内、カラスノエンドウ）

(2) 本年まで発生を確認した市町村数：54市町村

うち62年確認 15  
 63年確認 18  
 元年確認 19  
 2年確認 2（外海町、富江町）

(3) 過去に調査があつて未発見の市町村数：5

（岐宿町、三井楽町、玉之浦町、上五島町、有川町）

(4) これまでに発生した農作物の被害：いずれも越夏前成虫による被害

年 月	市町村名	加害状況	被害面積
62年5月上旬	佐世保市針尾	きゅうり茎表皮	10a
62年5月下旬	吉井町	キンショウメロン	10a
62年5月下旬	松浦市志佐	アムスメロン果こう部及びその付近の茎の表皮	10a
63年5月	西彼町	アムスメロン果こう部及びその付近の茎の表皮	10a
63年5月	松浦市	アールス系メロン果こう部及びその付近の茎の表皮	10a
元年5月中旬	松浦市調川	ハウスミカン果皮 同ハウス内の インゲンの莢及び葉身	10a
2年5月中旬	波佐見町	バレイシヨの茎葉部	10a

1) 薬剂防除

市町村名	地区名	圃場番号	防除面積	防除月日	防除方法	使用薬剂		
						薬剂名	使用量	合計使用量
大村市	黒丸	1	1.5	3月5日	散布	ワザワ微粒剂F 7°ワザワ3% 含有)	6Kg /10a	90kg
	溝陸	3	1	3月5日	散布			60kg
	竹松	5	0.3	2月25日	散布			18kg

2) 発生消長調査

市町村名	地区名	圃場番号	調査月日	調査面積 m <sup>2</sup>	発見 幼虫数	幼虫密度 頭/m <sup>2</sup>	備考
大村市	黒丸	2	2月5日	0.09	1.5	16.7	薬剂無処理区 30cm×30cm 2反復調査
			2月20日	0.09	18.0	200.0	
			3月4日	0.09	21.0	233.3	
			3月14日	0.09	74.0	822.2	
			3月25日	0.09	174.5	1938.9	
			4月4日	0.09	117.5	1305.6	
			4月15日	0.09	143.0	1588.9	
			4月25日	0.09	233.0	2588.9	
			5月7日	0.09	92.0	1022.2	
	5月23日	0.09	0.0	0.0			
	溝陸	4	1月14日	0.09	1.0	11.1	薬剂無処理区 30cm×30cm 2反復調査
			1月23日	0.09	1.0	11.1	
			2月5日	0.09	4.0	44.4	
			2月16日	0.09	2.0	22.2	
			2月26日	0.09	5.5	61.1	
			3月4日	0.09	11.5	127.8	
			3月14日	0.09	37.5	416.7	
			3月25日	0.09	273.0	3033.3	
			4月4日	0.09	486.5	5405.6	
			4月15日	0.09	699.5	7772.2	
			4月25日	0.09	75.0	833.3	
	竹松	6	2月5日	0.09	0.0	0.0	薬剂無処理区 30cm×30cm 2反復調査
			2月20日	0.09	7.0	77.8	
			2月25日	0.09	6.5	72.2	
			3月4日	0.09	41.0	455.6	
			3月14日	0.09	147.0	1633.3	
			3月25日	0.09	129.0	1433.3	
4月4日			0.09	141.5	1572.2		
4月15日			0.09	94.0	1044.4		
4月25日			0.09	43.0	477.8		
5月7日			0.09	11.0	122.2		
5月15日			0.09	10.0	111.1		
5月23日	0.09	1.5	16.7				

4) 防除効果確認調査

市町 村名	地区 名	圃場 番号	調査月日	調査 面積 m <sup>2</sup>	発見 幼虫数 頭	幼虫 密度 頭 / m <sup>2</sup>	備 考
大 村 市	黒丸	1	3月 4日	0.09	18.5	205.6	対無処理比
			3月14日	0.09	3.5	38.9	0.05
			3月25日	0.09	22.0	244.4	0.13
			4月 4日	0.09	20.0	222.2	0.17
			4月15日	0.09	16.0	177.8	0.11
			4月25日	0.09	5.5	61.1	0.02
			5月 7日	0.09	14.5	161.1	0.16
			5月15日	0.09	10.0	111.1	-
			5月23日	0.09	3.5	38.9	-
	溝陸	3	3月 4日	0.09	34.5	383.3	対無処理比
			3月14日	0.09	14.0	155.6	0.37
			3月25日	0.09	117.0	1300.0	0.43
			4月 4日	0.09	184.5	2050.0	0.38
			4月15日	0.09	114.0	1266.7	0.16
			4月25日	0.09	42.5	472.2	0.57
			5月 7日	0.09	1.0	11.1	-
	竹松	5	2月25日	0.09	36.5	405.6	対無処理比
			3月 4日	0.09	3.0	33.3	0.07
			3月14日	0.09	50.5	561.1	0.34
			3月25日	0.09	33.0	366.7	0.26
			4月 4日	0.09	50.5	561.1	0.36
			4月15日	0.09	34.5	383.3	0.37
			4月25日	0.09	11.5	127.8	0.27
			5月 7日	0.09	0.5	5.6	0.05
			5月15日	0.09	0.0	0.0	0.00
	5月23日	0.09	0.5	5.6	0.33		

黒丸1, 溝陸3は3月25日薬散布, 竹松5は2月25日薬散処理

5) ミツバチ及びハチミツに対する影響調査

(1) ミツバチに対する影響調査

市町村名	地区名	圃場番号	調査月日	死亡ミツバチ数	備考
大村市	黒丸	1	4月7日	10	
			4月8日	1	
			4月9日	2	
			4月10日	6	
			4月11日	0	
			4月12日	6	
			4月13日	5	
	4月14日	3			
	溝陸	3	4月8日	11	
			4月9日	18	
			4月10日	11	
			4月11日	12	
			4月12日	10	
			4月13日	11	
竹松	5	4月7日	11		
		4月8日	2		
		4月9日	13		
		4月10日	3		
		4月11日	5		
		4月12日	7		
		4月13日	16		
4月14日	(46)	人為的に雄を捕殺したもの			

(2) ハチミツの農薬残留調査

市町村名	地区名	圃場番号	分析月日	農薬残留分析機関	農薬残留調査		採蜜日
					薬剤名	残留の有無	
大村市	黒丸	1	6月10日	長崎県 総農試	プロチオホス	無※	5月30日
	溝陸	3			粉剤(3%)	無※	5月25日
	竹松	5	6月15日			無※	5月26日

無※：プロチオホス及びプロチオホス酸化体とも検出限界(0.01ppm)以下であった。

6) 所見、今後の問題点

- (1) 越冬成虫の産卵は明らかにすることはできなかった。幼虫は1月中旬から2月初旬には若齢幼虫が確認できた。4月中旬より齢構成は老齢が主体となり食害も激しくなった。蛹化は4月中旬に始まり、ピークは4月25日から5月10日頃で、新生成虫は5月7日に確認した。
- (2) トクチオン微粒剤Fの散布は黒丸、溝陸、竹松の3圃場において、対照区に対してアルファルファタコゾウムシ幼虫の発生を低密度に抑え、高い防除効果が認められた。
- (3) 今回の防除試験の範囲においては、トクチオン微粒剤Fのミツバチに対する影響は認められなかった。
- (4) 今回の防除試験の範囲においては、トクチオン微粒剤Fのハチミツへの残留については認められなかった。